

会 議 議 事 録

1 会議名	平成28年度第1回長岡市男女共同参画審議会
2 開催日時	平成28年7月20日（水曜日） 午後1時30分から午後3時30分まで
3 開催場所	アオーレ長岡 301会議室
4 出席者名	<p>【委員10名】</p> <p>青木 仁 石川 伊織 黒岩 海映 櫻井 真理 高橋 聡 樋熊 憲子 深見 政英 本間 千尋 米山 宗久 鷲尾 達雄</p> <p>【事務局5名】</p> <p>近藤市民部長 江田市民活動推進課長 栗林男女共同参画推進担当課長 堀川男女共同参画推進担当係長 丸山主任</p> <p>※ 他に関係課職員16名が同席した</p>
5 欠席者名	<p>【委員2名】</p> <p>小林 守、福田 和美</p>
6 議題	<p>(1) 計画の推進状況について</p> <p>(2) 市民意識調査の結果について</p> <p>(3) 第2次ながおか男女共同参画基本計画の改訂について</p> <p>(4) 女性活躍推進法の市町村推進計画について</p> <p>(5) 意見交換</p>
7 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
市民部長	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>本日は、お忙しいところ審議会に出席いただき感謝申し上げます。</p> <p>本審議会は、男女共同参画の重要施策について審議するため、条例に基づき設置している。</p> <p>長岡市は今年度、新たなまちづくりの方向性を示した「長岡市総合計画」をスタートさせた。施策の柱の一つとして、前計画に引き続き「男女共同参画の推進」を掲げている。</p> <p>第2次ながおか男女共同参画基本計画は、総合計画の下での個別計画にあ</p>

	<p>たるが、10年間の計画期間の5年目にあたり、計画の見直しを行う予定となっている。後期5年間の計画が、より充実したものとなるよう、どうか、皆さまからお力添えをいただきたい。</p> <p>本日は、計画の推進状況や市民意識調査の結果を報告し、それらを踏まえた計画改訂の方針などについて説明するので、忌憚のないご意見を頂戴したい。</p> <p>自己紹介</p> <p>3 講 義 男女共同参画の現況と第2次ながおか男女共同参画基本計画改訂のポイント 講師 新潟県立大学 石川 伊織 教授</p> <p>4 議 題 (1) 計画の推進状況について ・事務局より資料1-1、1-2、1-3、1-4及び1-5に基づき説明</p> <p>(2) 市民意識調査の結果について ・事務局より資料2-1及び2-2に基づき説明 ・意識調査に携わった米山委員が資料2-3に基づき説明</p> <p>委員 事務局 意識調査の結果について、男女別等の資料はあるか。</p> <p>冊子「長岡市男女共同参画に関する意識調査報告書」をご覧いただきたい。</p> <p>(3) 第2次ながおか男女共同参画基本計画の改訂について (4) 女性活躍推進法の市町村推進計画について ・事務局より資料3及び資料4-1に基づき説明</p> <p>(5) 意見交換 会長 委員 それでは、委員の皆様から計画の推進状況に対する評価や、ご専門の分野の現況、計画への要望等について、ご意見をいただきたい。</p> <p>計画の基本目標ごとに各部署間で情報共有し、連携して事業を推進して行ってほしい。また、市民意識調査のデータから、子どもたちのメディア・リテ</p>
--	---

委員	<p>ラシーが重要になってくると感じた。</p> <p>DV防止法では「被害者の国籍、障害の有無を問わずその人権を尊重すること」が明記されている。これは法律の改正によって加えられた文言である。</p> <p>外国籍や障害を持つ人がDVを受け、相談するのはとてもハードルが高い。国の調査でも「どこにも相談したことがない」と答えた人が常に40%程度いる。長岡市はDV被害者支援に早くから取り組んでいることについては評価しているが、女性の中でも弱者に位置する人の被害の掘り起こしに取り組んでもよいのではないか。</p> <p>計画の事業No.53「外国籍の方のDV相談への対応」は主要施策「(16) 相談保護体制の充実」だが、障害者については「(18) 関係機関や民間支援団体との連携強化」に入っている。障害者の相談の中でDVが疑われる案件について連携がとられていると想像するが、中・軽度の障害者が直接DV相談ができる仕組みも作っていただきたい。</p> <p>DV相談窓口を紹介するパンフレットが作られているが、点字版や音声データ、ルビが振られたものの作成、相談をFAXやメールで受け付けるなどの取組が、掘り起こしに繋がっていくのではないかと思う。</p> <p>また、資料1-4の事業No.49では「学校におけるセクシャル・ハラスメントを含めた人権課題に関する校内研修等を年1回以上実施」とあるが、どの程度のことをしているのか見えてこない。子ども同士の性被害が起きた時に、最初に相談する先は親でなく保健室の先生だったり担任だったりすることが少なくない。その時に臭いものに蓋をしてしまうような対応でなく、きちんと聞いてあげることができるのか。子どもと接する大人たちは、そのような相談を受けることがあるということを念頭に置いていただきたい。</p> <p>また、デートDVの出前講座に取り組んでもらっているが、講座を聞いた生徒が先生に相談した時に、先生はきちんと答えてあげられるのか。継続的な研修が必要であるし、関係機関との連携が必要である。</p>
委員	<p>講義の中にあつた「女性の活躍とは何なのか」という言葉がずっと心に残っている。教育の分野で女性管理職の登用率を30%にするという目標を掲げたとき、女性教諭の幸せがそこにあるのか、活躍とはそういうことなのかということを考える。</p> <p>各担当課が自分たちの分野に関わる女性たちの活躍とはどんなものか、それを具現化するためのどういう施策が必要なのか、考えてほしい。</p> <p>意識の変革というのはなかなか難しいところであるが、周囲の環境や社会のシステムの方から変えていくしかないと思っている。</p>

<p>委員</p>	<p>教育の現場では、児童・生徒たちに「男だから、女だから」という意識はまずない。その子どもたちが5年後、10年後に社会に出た時に、バリバリ働きたい人は働けばいいし、家庭で子育てをしたいという人も、それはその人にとっての活躍の場だと思う。労働人口が不足して女性も働きなさいという声が強くなっているが、多様性を認める社会であってほしい。</p> <p>女性の職業生活における活躍の一層の充実についての話が多く、どの項目でも雇用が関係してきているように感じている。</p> <p>資料1-1の事業No.55について、児童扶養手当の受給者はどれくらいいるのか。そのうち支援プランを策定した受給者が年に10人程度となっているが、それ以外の方は就労しているのかどうか、参考に伺いたい。</p> <p>女性の就労については、国としてもより一層充実していく方針を示しており、市とも連携をとりながら取り組んでいきたい。</p>
<p>生活支援課</p>	<p>児童扶養手当を受給しているのは約1,700世帯。申請者の多くは就労している。就労していない人についても、子どもが障害をもっていたり、介護をしていたりとすぐに就労できない場合が多い。</p>
<p>委員</p>	<p>農業高校の同窓会の役員をしている。ここ数年、新入学生の男女比が変化し、女性が本当に多くなっている。ただ、就職になると力仕事が多いためか、女性の農業への就職は少ない。加工やバイオ研究の分野では、女性の就職が多いようである。農業分野でも、男女共同参画が進んでいると感じている。</p>
<p>委員</p>	<p>大学を出た20代女性の友人にはバリバリ働いている人が多いが、結婚もしたい、子どももほしいがキャリアを積みたいと思ったときにどのような道を歩めばいいのか不安だという声をよくきく。女性が活躍できるような環境をつくり、例えば管理職の女性が増えるなどすれば、その人をモデルにキャリアが描きやすくなるのではないかと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>資料4-2で男性の育児休業取得者が平成26年度に54人中1人だけとあるが、とらなかった53人について、理由は分かるか。課題となっていることが分かり、クリアできれば取得率も上がっていくのではないかと思う。</p>
<p>人事課</p>	<p>調査は行っていないが、育児休業中は無給になることが、男性職員が育児休業を取得しない理由の一つではないかと考えている。</p>

副会長	資料No. 1 - 1 の事業No.65 で会議の開催がなかったとあるが、理由は。
事務局	この会議は副市長を議長とし庁議のメンバー（部長級以上）の職員で構成される。平成 23 年度末に現計画を策定した際に開催し、計画の内容に大きな変更がないため、それ以降は開催していない。
副会長	男女共同参画に関する様々な課題について、この会議で話し合ったりすることはないのか。
事務局	課題についての話し合いは、この審議会でもいただいたご意見を元に各課で行うものであり、事業の見直しについては個々に起案され決裁を受けている。
会長	資料No. 1 - 2 で年度ごとの状況を見ると、大きく変動していたり、人数がだんだん減っているものがある。その理由をまとめておいてほしい。 また、例えば研修を行ったという報告では、どんな研修をして、どんな立場の人がどれだけ集まり、どんな反応であったのか、というところまで書き込んでほしい。
市民部長	事業の実施によってどのような成果が出たか、という振り返りも重要だと考えているので、次回の審議会でお出しできるようにしたい。 また、部長級が一堂に会する政策推進会議は開催できなかったが、部局間の情報共有は非常に大切であるので、そういった機会を増やしていきたい。 本日いただいたご意見を反映して、たたき台に載せていけるようにする。
事務局	5 閉 会 本日は長時間の審議の中で貴重な意見をいただき、感謝申し上げたい。いただいたご意見は、計画改訂の参考とさせていただきます。 また、計画に対するご意見・ご質問は別途お寄せいただくようお願いする。次回審議会は 10 月開催予定であり、日程は別途調整する。 以上で第 1 回男女共同参画審議会を終了とする。
8	(出席委員の署名欄) (略)
9	会議資料 別添のとおり